



県道百次木場茶屋線（バイパス工事）



県道百次木場茶屋線（現道拡幅工事）



県道百次木場茶屋線の整備については、バイパス区間（約400m）の道路新設工事と現道区間（約1,500m）の拡幅工事を行っており、平成25年度中の完成を予定しています。



準用河川阿茂瀬川
（第二川永野橋）改修工事



市道（仮称）川永野・無禮線
（道路改良工事）

準用河川阿茂瀬川の改修工事については、第二川永野橋の橋梁工事を行っています。また、市道（仮称）川永野・無禮線の拡幅工事も行っています。

この他、市道川永野大原野線の道路整備や市道木場茶屋都線の橋梁拡幅等は完了しています。

今後とも、上水道の給水設備、勝目川の護岸整備など地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。

問い合わせ先

- 財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号
電話 0996-21-1220
- 鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課
電話 099-286-2650

※この「環境整備公社だより」は、当会社ホームページ（<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>）にて閲覧いただけます。

平成25年1月
鹿児島県
財団法人鹿児島県環境整備公社

県議会環境厚生委員会による行政視察について

昨年11月13日、「県議会環境厚生委員会」によるエコパークかごしま（仮称）整備工事の行政視察が行われました。

当日は、与力雄委員長ほか6人の委員が参加し、高耐圧ポリエチレン管を使った集排水施設や遮水構造、覆蓋施設の柱の基礎などの施工状況について、環境整備公社職員の説明を受けるとともに、整備地内の視察が行われました。

視察後、与委員長から、「工事については、適切、丁寧、安全に施工されていると感じた。」とコメントがありました。

また、県道百次木場茶屋線の道路整備や準用河川阿茂瀬川の改修工事などの地域振興策の実施状況についても視察が行われました。



埋立地底部における視察状況
（後ろは、貯留構造物（コンクリート式擁壁））

エコパークかごしま安全監視委員会について

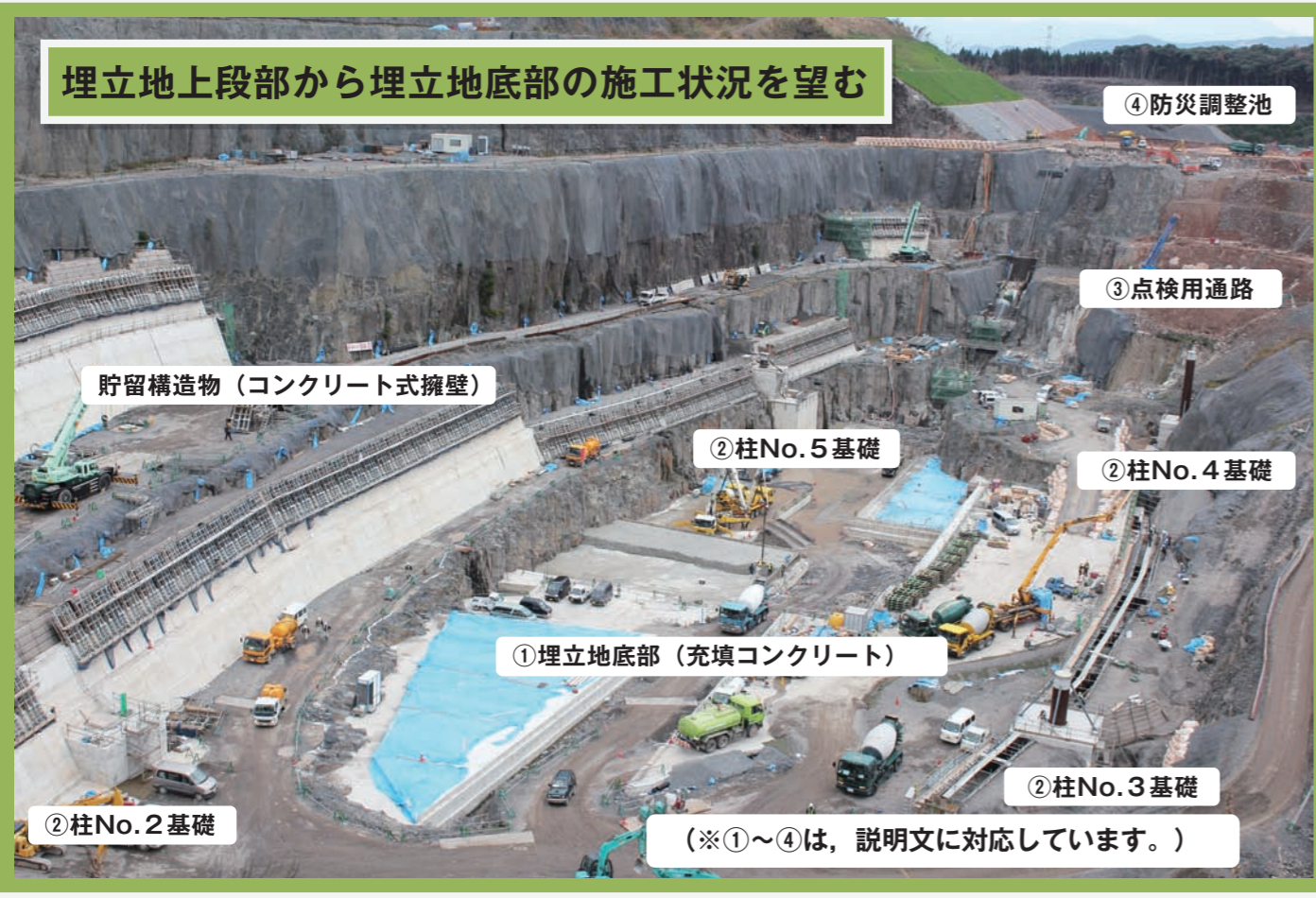
昨年12月27日、第4回「エコパークかごしま安全監視委員会」が、薩摩川内市内で開催されました。

安全監視委員会では、窪地排水の長期化などにより、工期を延ばさざるを得ない状況にあること、また、工法の一部見直しなどにより工事費の増額が見込まれることを報告した後に、管理型最終処分場整備工事の施工状況等について、説明を行いました。



第4回安全監視委員会

埋立地上段部から埋立地底部の施工状況を望む



① 埋立地底部（充填コンクリート）

強固な岩盤の上に万全な遮水工を造るため、埋立地底部の岩盤面をきれいに清掃した後、コンクリートを打設しています。

このコンクリートは、何層にも重ねて打設しており、最大で約7mの厚さになります。



② 覆蓋施設の柱

覆蓋施設の柱は、埋立地内に5本、埋立地外に105本を設置します。

これまで、埋立地内の5本の柱の基礎工事が終了し、昨年12月からは、埋立地外の柱の基礎工事に着手しています。



③ 点検用通路

浸出水や地下水の水質を監視するための点検用通路の工事を行っています。

この点検用通路により、地表部から約40m下に移動することができ、直接、水質を監視することができます。



④ 防災調整池

防災調整池の造成工事を行っています。

なお、この造成工事のため、現在、工事現場前の道路を切り替えています。工事終了後には現道に戻します。



覆蓋施設（屋根）の解説



- ・ 埋立地内への雨水の流入や、粉じん・臭気の周囲への飛散及び拡散を防止します。
- ・ 天候に左右されず計画的に散水を行うことから、廃棄物の早期安定化が図れます。
- ・ 埋立地内の5本の柱の間隔は、最小で61.5m、最大で139.5mであることから、廃棄物を埋立てる作業のしやすい空間が確保されます。
- ・ 建築基準法等に基づき、構造解析を行い、耐震性を確保しています。